機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	改定種別	機能要件	実装区分	適合基準日
0110081	2.1.16.				納付書を個別に発行する際、出力する税額を任意に修正できること。	標準オプション機能	
0110082	2.1.17.	1	予定申告書出力項目		一括作成時の出力項目は地方団体ごとに任意に設定が可能なこと。 項目設定の画面を機能として提供する他、保守作業として対応することも許容される。 また、個別作成において、ブランク発行（フォームのみ）、法人名・所在地・法人管理番号・法人番号・申告区分のみの発行もできること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0110083	2.1.17.	2			申告書の整理番号欄に、発行整理番号を出力できること。	標準オプション機能	
0110084	2.1.17.	2			発行整理番号を利用して、申告書作成法人一覧などの発行管理帳票又は画面で対象申告書が特定できること。	標準オプション機能	
0110085	2.1.18.	1	確定申告書出力項目		一括作成時の出力項目は団体ごとに任意に設定が可能なこと。 項目設定の画面を機能として提供する他、保守作業として対応することも許容される。 また、個別作成において、ブランク発行（フォームのみ）、法人名・所在地・法人管理番号・法人番号・申告区分（確定・修正）のみの発行もできること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0110086	2.1.18.	2			申告書の整理番号欄に、発行整理番号を出力できること。	標準オプション機能	
0110087	2.1.18.	2			発行整理番号を利用して、申告書作成法人一覧などの発行管理帳票又は画面で対象申告書が特定できること。	標準オプション機能	
0110088	2.1.19.	1	納付書出力項目		一括作成時の出力項目は地方団体ごとに任意に設定が可能なこと。 項目設定の画面を機能として提供する他、保守作業として対応することも許容される。 また、個別作成においてブランク発行（フォームのみ）、法人名・所在地・法人管理番号のみの発行もできること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0110089	2.1.19.	2			納付書の処理事項欄に、発行整理番号を出力できること。	標準オプション機能	
0110090	2.1.19.	2			発行整理番号を利用して、申告書作成法人一覧などの発行管理帳票又は画面で対象納付書が特定できること。	標準オプション機能	
0110091	2.1.20.				予定申告の納付書には、以下を出力するかを地方団体ごとに任意に設定できること。 項目設定の画面を機能として提供する他、保守作業として対応することも許容される。 ・法人税割額 ・均等割額 ・合計額	実装必須機能	令和８年４月１日
0110092	2.1.21.	1	プレ申告データ作成（ｅＬＴＡＸ連携）		ｅＬＴＡＸ利用法人について、プレ申告データを抽出及び作成し、ｅＬＴＡＸ連携ファイルが作成できること。 プレ申告データ作成対象法人をリストで出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0110093	2.1.21.	2			法人基本情報の予定・中間区分で、「中間」の法人には、中間申告書のプレ申告データを抽出及び作成し、ｅＬＴＡＸ連携ファイルが作成できること。	標準オプション機能	
	2.2. 申告書登録・課税作成						
0110094	2.2.1.	1	申告登録基本		該当する法人、事業年度及び申告区分を指定して、法令に定める申告書、みなす申告、見込納付等の課税情報の登録及び管理ができること。 申告ごとに、申告年月日が管理できること。 同一事業年度内の課税情報は、修正申告、更正・決定、再更正も含めて時系列に管理できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0110095	2.2.1.	2			以下の課税情報の登録及び管理ができること。 ＜対象申告＞	標準オプション機能	
0110096	2.2.1.	2			・退職年金積立金に係る確定申告	標準オプション機能	